

ランナラン新聞



Books × Coffee Sol

責任編集：井上明彦 2019/12/22

京都市南区東九条西岩本町 16-2 Books×Coffee Sol. 2F

そもそものきっかけ

2018年11月3日 崇仁地区で開かれたイベント「川デツナガル」の際、「崇仁テラス」で京芸院生の毛利愛実子・山本紗佑里2人展「透明なすみか」と東九条マダンの浜辺ふうのひとり芝居が合流。
その事前打ち合わせを10月に Books×Coffee SOL で行っていた。



2018年11月3日「崇仁テラス」での2人展と一人芝居の合流

2019年2月9日 ヤンソルさんから井上宛メール

「…これは完全にヤンからの個人的なご相談なのですが、Books × Coffee Sol. の2階の模様替え?を考えています。今は畳の部屋が二部屋で、ちょっとした勉強会などの貸しスペースと、私が細々とリンパマッサージの仕事をしています。材料費と若干の謝礼程度しか支払うことができませんが、部屋のアレンジをプロデュース・作業することまで願うことができる学生さんなど、いらっしやらないでしょうか?

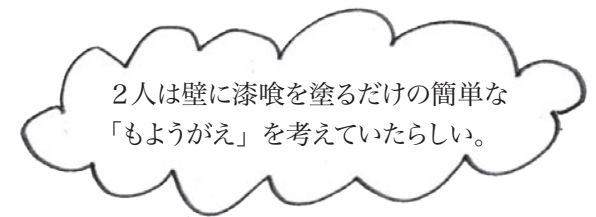
…よほど奇抜なものでもなければ、学生さんの感性で Sol. の2階をいい感じにしていだければと思っています。壁に絵を描いてもらっても大丈夫です。現場作業の際は、Sol. での食事つきです。」

* ヤンソルさんは東九条マダン実行委員長

2月11日

井上が毛利・山本の2人に声をかける。
快諾するも、2人とも展示や旅行で多忙。

2人は壁に漆喰を塗るだけの簡単な「もようがえ」を考えていたらしい。



4月16日 山本紗由里から

「井上先生 お久しぶりです。新年度でお忙しいところ、申し訳ありません。あれからソルさんに伺い、天井裏を確認したり近所の大工経験のある方などにお話を聞くなどしたところ、壁、床、天井ともになかなか漆喰もペンキも耐えうるほどの強度がなさそうであることがわかり、もようがえをどう進めていこうかと悩んでいます。」



ペラペラの表面材(ベニヤ、床材)をすべて剥がし、構造をたしかめて頑丈な桟や梁で補強、構造用合板を壁・床に張り回すことを提案。壁の漆喰塗はあとまわしに。



4月28日 漆喰塗りを後回しにし、養生をとりはずす。



4月28日(日)
壁・畳・床板はがし開始



井上・毛利(陶磁器)・山本(染織)に加え、玉井静穂(染織)・野村由香(彫刻)が現場に入る。二部屋の畳と壁板はがしに着手。



5月4日 井上、クーラーをとりはずす。
連休中に中川亮二(彫刻 M2)、6月11日に松井照太(彫刻)参加



あわや感電!

5月11日(土)
電気コードを丸鋸で切断!

「井上先生 電気の線(1F奥のライトに繋がっている)を切ってしまいました!」
「もっか大阪港の舞洲。これからバスで京芸に戻ります。帰ったら見に行きます!」



畳をはがすと「土足禁止」の札が!



壁のベニヤをはがすと昭和の広告が!

壁の奥には昔の時間のレイヤーが残っていた。埋め殺さず新しい壁板から過去がのぞけるようにすることを決める。



天井板は石膏ボードを屋根裏から吊り下げていた。



5月7日 床板をすべて剥がし、構造をチェック。一部に沈降が見られ、両サイドを角材で補強する。



敷居も取って部屋を一続きに。床を安定させないと作業しにくいので2×4材でフレームをつくり、構造用合板を仮張り。



5月18日 仮張りできた床に寝そべる。
安定した床のありがたさを実感。



天井板からシートをはがす。次いで吊り構造のフレームを落とす



6月4日 天井板ははずすものすごいホコリ!! 床は石膏ボードのがれきの山!!

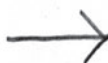
屋根裏の野地板はラフな継ぎはぎ状態。
竹木舞むき出しの土壁は真っ黒だった。



しっかり断熱!



6月10日 天井がないと猛烈に暑くなるので、屋根裏に断熱用のグラスウールを入れる作業を開始。



墨汁を塗ったベニヤ板で抑えて、天井意匠とする。





6月23日

3×6の板材を2階の窓側から搬入中、窓が落下。下にいた井上、とっさに身をかかわして難を逃れるも、買い替えたばかりの車に当たって凹む。梅雨どきなので、雨対策と防犯対策のために、ベニヤを窓ガラス代わりに窓枠に入れて急場をしのぐ。



この事故が手づくりステンドグラスに結実!



夏前から、傾きうねる梁に合わせて壁板を張り合わせ、変形小窓を開ける木工作業の嵐が続く。7月末より木工に長けた佐藤由輝（漆工）が参加。



9月4日～漆喰塗り作業を開始。シーラーで下地、端や際の処理も入念に。

土の再生利用

2階上り口の壁を取り、土を再生利用して、屋根下の土壁に塗り込む。上り口の変更は空間へのアプローチを一新させる。その場にあるもの、物質、時間を重ね、循環させながら、新しいことに取り組む。

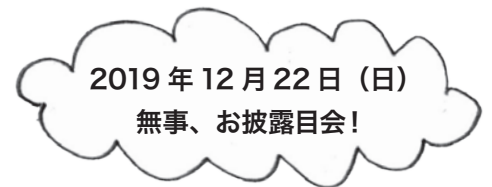


→ **11月21日** ヤンソルさんから「ノランナラン」（あなたとわたし）のスペース名を提案いただく。



作業の後はいつもおいしい食事を出して下さったヤンソルさん、よく様子を見にきて下さった近所の元内装屋のまさとさん、ほかほか、ご協力下さったみなさま、本当にありがとうございました!

→ **12月15日** 澤あも愛紅、壁に絵を描く



2019年12月22日(日)
無事、お披露目会!

毛利愛美子・山本紗由里・野村由香・中川亮二・佐藤由輝・玉井静徳・松井照太・澤あも愛紅・井上明彦